

|  |  |      |    |      |   |             |    |      |    |   |
|--|--|------|----|------|---|-------------|----|------|----|---|
| 科目名  | 麒麟の知 【COC】   |      |    |      |   | 授業タイプ       | 講義 |      |    |   |
| 科目区分   | 総合教育   | 履修区分 | 選択 | 配当年次 | 3 | 単位数         | 2  | 開講区分 | 前期 |   |
| 教員名  | 倉持 裕彌（専任）、太田 太郎（専任）、甲田 紫乃（専任）、佐藤 彩子（専任）<br>竹内 由佳（専任）、戸苅 丈仁（専任）、山口 和宏（専任）、吉永 郁生（専任）   |      |    |      |   |             |    |      |    |   |
| 授業の概要  | <p><b>キーワード：在来知の発掘、地域課題の解決、麒麟地域（鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、新温泉町、香美町）</b></p> <p>1年次配当の「鳥取学」を基礎知識とし、1、2年次に受講した「麒麟プロジェクト研究（プロジェクト研究1～4のうちの一つ）」で学んだ鳥取（特に鳥取市、八頭町、智頭町、若桜町、岩美町、および兵庫県新温泉町、香美町を含む麒麟地域）の課題や在来知に関して、関連する専門科学（自然科学、社会科学および人文科学）的見地から解説することで、知識を深化する。「鳥取学」と「麒麟プロジェクト研究」の事後学習と位置づけ、専門課程における専門科目の学修へのきっかけとする。</p>  |      |    |      |   |             |    |      |    |   |
| 到達目標   | 鳥取または関連するフィールドに係る具体的かつ実践的な取り組み事例に触れることによって、地域課題の発掘能力と専門的知識を活用した解決能力を高める。   |      |    |      |   | カリキュラムマップ項目 |    |      |    |   |
|  |  |      |    |      |   | I           | II | III  | IV | V |
|  |  |      |    |      |   |             |    | ○    | ○  | ○ |
| 授業計画   | <p>① ガイダンス（倉持）（4/10）</p> <p>② 鳥取県における水産物のブランド化の実情：地域特産物から地域ブランドへ（太田）（4/17）</p> <p>③ 鳥取の水産物から見た未来（吉永）（4/24）</p> <p>④ ゲストスピーカー（智頭町）（5/1）</p> <p>⑤ 鳥取における脱炭素社会に向けた取り組み（甲田）（5/8）</p> <p>⑥ ゲストスピーカー（八頭町）（5/15）</p> <p>⑦ 鳥取をフィールドとした有機性廃棄物からのエネルギー回収と地域内資源循環（戸苅）（5/22）</p> <p>⑧ ゲストスピーカー（岩美町）（5/29）</p> <p>⑨ 鳥取県の農村の現状と課題（山口）（6/5）</p> <p>⑩ ゲストスピーカー（若桜町）（6/12）</p> <p>⑪ 鳥取県の高齢化・過疎化問題とその解決に向けた取り組み（佐藤）（6/19）</p> <p>⑫ 鳥取県の医療・介護サービス人材の特徴と課題（佐藤）（6/26）</p> <p>⑬ ゲストスピーカー（新温泉町）（7/3）</p> <p>⑭ 農産物マーケティングと鳥取におけるその課題（竹内）（7/10）</p> <p>⑮ ゲストスピーカー（鳥取市）（7/17）</p> <p>※ゲストスピーカーは現在調整中であり、今後増える可能性がある。</p> |      |    |      |   |             |    |      |    |   |
| 評価方法   | 各担当教員毎にミニテスト（計6～7回）を実施し、その合計点で評価をします。  |      |    |      |   |             |    |      |    |   |
| 講義外での学習  | 内容が多岐にわたるため毎回の復習が必要です。またより深い知識を得るために、講義内容に関連する書物や文献を読むことが望まれます。  |      |    |      |   |             |    |      |    |   |
| 履修上の注意事項   | <p>講義内で課題が提示されます。</p> <p>※先修科目： 履修にあたって、「鳥取学」「麒麟プロジェクト研究」を履修しておくこと</p> <p>※他学部履修： 特に制限無し。事前確認不要。</p>   |      |    |      |   |             |    |      |    |   |
| 教材   | <p>◆教科書： 毎回の講義で資料を配付</p> <p>◆参考書：</p>  |      |    |      |   |             |    |      |    |   |
| 実務経験のある教員による授業科目                                     |  |      |    |      |   |             |    |      |    |   |
| 民間企業や行政機関等での実務経験を有する教員が、地域課題やその解決策について、実践的な見地から講義する。 |  |      |    |      |   |             |    |      |    |   |